



串間市総合案内所の路面電車

昭和25年(65年前)に製造、昭和43年に大阪市電から広島電鉄に譲渡され、平成26年11月まで広島電鉄で走っていました。希少なこの電車を広島電鉄のご厚意により、平成27年5月にくしままちづくり協議会が安価で譲り受けています。

750形769号という車両で、西部警察のドラマ撮影で爆破されたことでも有名です。



市民コンシェルジュになりませんか☆

土日の市民コンシェルジュは、まちづくり協議会やサイクリング協会、市職員などがボランティアで行っています。串間市にはここができるまでは総合案内所はありませんでした。串間市民みんなで訪れる方々を心からもてなし、串間市に来てよかった、また行きたいと思えるような街にいきましょう。

※市民コンシェルジュにボランティアとしてご協力いただける方・団体は、串間市商工観光スポーツランド推進課までご連絡ください。(簡単な面談をさせていただきますので、ご了承ください)

〈問い合わせ先〉
商工観光スポーツランド推進課 ☎72-1111(内線268)



暖かくなってきても、串間温泉いこいの里

串間温泉いこいの里はこれからも皆さまに愛される場所として、営業してまいりますので多くのご利用をお願いいたします。

毎月15日は「いこいの日」

入浴料が半額の日として毎月26日「フロの日」に加え、新たに毎月15日「いこいの日」を設けました。さらに多くの人に、串間温泉いこいの里の良さを知っていただきたいと思ひます。ぜひお越しください!

問い合わせ先 串間温泉いこいの里 ☎75-2000

まだまだ知らない串間がたくさん! くしま再発見

●路面電車の見どころ

①今では貴重な路面電車

昭和25年(65年前)に製造、昭和43年に大阪市電から広島電鉄に譲渡され、平成26年11月まで広島電鉄で走っていました。希少なこの電車を広島電鉄のご厚意により、平成27年5月にくしままちづくり協議会が安価で譲り受けています。

③素敵なコンシェルジュ(案内人)がお出迎え

総合案内所を行う、市民コンシェルジュと呼ばれる方々が皆様をお出迎え致します。中を見るだけでも結構です。各種パンフレットなども置いてあります。情報を収集する場、発信する場としても利用してください。

気軽においでね、串間市総合案内所

串間駅のとりにある路面電車に行かれたことはありませんか?

この車両は、広島電鉄から市民団体「くしままちづくり協議会」が譲り受けたものです。その半分が「串間市総合案内所」になっていきます。串間市の観光に関することや、さまざまな問い合わせに対応しています。

②ベッパー君がお出迎え

アンドロイドの「ベッパー君」が皆さんをお出迎えしてくれます。レトロな中に、最先端の技術が不思議と融合しています。メンテナンスから元気に復活して、おしゃべりも絶好調になっています!

よく尋ねられること

- ・都井岬に行くにはどうすればいいの?
- ・どこか食事できる場所はありますか?
- ・JR、よかバスの時間帯など

特にお食事の情報で、「こんなところもあるよ!」という情報があれば教えてください!



ぶりぶり丼



ベッパー君

●クリスチャン プロフィール●

アメリカ・ノースカロライナ州出身/25歳(5月20日生まれ)/O型/
3人兄弟(兄・クリス・妹)/趣味:バスケ・カラオケ/好きな食べ物:焼肉

スタート!

よろしくお願いします

今回の講師は、消防署の救急救命士・和田将文さんが務めてくださいました。今回の講習では、心肺蘇生法やAEDの取り扱いについて勉強します。

救急救命士 和田さん

これがAEDといいます



プロの技術を見て学ぶ

初めに簡単な説明を受けて、さっそく実技です。まずはプロにお手本を見せてもらいます。



何度も練習して体で覚える

胸骨圧迫と人工呼吸を繰り返す心肺蘇生法とAEDの使い方を教えていただきながら練習します。



胸骨圧迫のコツは「強く、速く、絶え間なく!」

真剣モードのクリスチャン

3時間みっちり練習して何とか一人でできるようになってきました。



電気ショックの後は心肺蘇生を再開!



習得まであと一歩

最後は、実技の効果測定を行います。これをクリアすれば終了証がもらえます。



和田さんから一言

皆さん覚えが早くて、いざという時にはしっかり心肺蘇生法をしてくれると思います。消防署では要望があれば救命講習会を行いますので、大切な方を守るためにぜひ受講してください。

〈救命講習問い合わせ〉
串間市消防本部 ☎72-0297



無事終了証ゲット!

日々の生活ではあまり経験できないことが体験できてとても感謝です。最初は大きな声で状況を説明したり助けを求めたりするのが恥ずかしかったけど、何回も繰り返してやることにより慣れることができ、緊急事態が実際に起こったときに何かの役に立てると思うようになりました。一番心に残ったのは大事な人がいざという時にも生きるか死ぬかは自分が決め手になることもあるということ。人生は何が起るか分からないですし、その大事な人のためにも、皆さんも救命講習を一回でも受けてほしいですね。

いざという時はオレたちにまかせろ!



新入職員のみなさんと